

記者発表資料

日本橋室町地下歩道その2工事において 「見積活用方式」「間接工事費実績変更方式」を試行

昨今、工事発注において予定価格超過や入札参加者がいないことなどを理由として、入札の取りやめや不調となる工事が相次いでいることから不調不落対策を試行しております。

今回発注する「日本橋室町地下歩道その2工事」については、標準的な積算と当該現場の見積り（実勢価格）に乖離が生じている場合が考えられることから以下の試行を行います。

①「見積活用方式」

本工事は、鉄道等のアクセスも便利なことから、自動車交通量及び歩行者の通行が多い箇所、日々夜間の交通規制をしながらの工事のため、施工に伴い作業効率が低下することが懸念されます。このため、入札参加者から見積の提出を求め、その価格の妥当性を検証の上、予定価格に反映する「見積活用方式」を採用します。

見積を求める工種は、標準的な積算との乖離が予想される工種より選定しています。

②「間接工事費実績変更方式」

本工事は、交通量及び人口が多い東京23区内直轄国道における現道上の交通規制を伴う工事であり、関係機関等の協議などの要因により、共通仮設費（率分）について標準的な積算と当該現場での見積り（実勢価格）に乖離が生じると予想されることから、その妥当性を確認のうえ実績により共通仮設費（率分）について変更する「間接工事費実績変更方式」を採用します。

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会 都庁記者クラブ

問い合わせ先

東京国道事務所 電話 03-3512-9090（代）
工務第一課長 いしづか 石塚 かつみ 克己（内線411）

《見積活用方式、間接工事費実績変更方式の工事概要》

- (1) 工 事 名：日本橋室町地下歩道その2工事
- (2) 工事場所：自) 東京都中央区日本橋室町二丁目
至) 東京都中央区日本橋室町三丁目
- (3) 工 期：契約の翌日から平成32年2月28日まで（予定）
- (4) 入札方式：一般競争入札 総合評価落札方式（技術提案評価型S型（WTO））
- (5) 工事種別：一般土木工事
- (6) 工事内容（概要）
開削土工1式、現場打構築工1式、構造物撤去工1式、共同溝工1式、
仮設工1式、舗装工1式
- (7) 見積の提出を求める工種「見積活用方式」
 - ・直接工事費のうち、開削土工、現場打構築工、開口補強工、構造物撤去工、
共同溝工、仮設工に係るもの
- (8) 見積の提出を求める理由
本工事は、鉄道等のアクセスも便利なことから、自動車交通量及び歩行者の通行が多い箇所、日々夜間の交通規制を行う工事です。
施工にあたっては、交通規制に伴う車道・歩道利用者への影響をできるだけ軽減しながらの施工が必要であり、また夜間での現道上の施工となることから作業効率の低下に伴い、標準的な積算と実勢価格に乖離が生じることが考えられるため、「見積活用方式」を試行するものです。
- (9) 実績により変更を行う工種「間接工事費実績変更方式」
 - ・共通仮設費（率分）のうち、運搬費、安全費、営繕費
- (10) 実績により変更を行う理由
本工事は、交通量及び人口が多い東京23区内直轄国道における現道上の交通規制を伴う工事です。
施工にあたっては、日々、夜間の交通規制を繰り返しながら行う必要があり、交通の安全を確保する施設や資機材の日々回送が発生します。また、大都市中心部に資材置き場や現場事務所等を確保する必要があります。
これらの地域の特殊性及び作業条件から施工機械や資材の運搬や交通規制において作業効率が低下するため、標準的な積算と実勢価格に乖離が生じることが予想されるため、「間接工事費実績変更方式」を試行するものです。
- (11) スケジュール
○入札公告：平成29年 7月21日
○入 札 日：平成29年10月30日